

令和元年度事業報告

時代は「平成」から「令和」へ移り、少子高齢化が加速度的に進行している現在、我々高齢者を取り巻く社会的・経済的状况も大きく変化しています。65歳までの雇用継続制度が定着する一方で年金の支給年齢が引き上げられています。高齢者に経済上・自己実現要求上などからの就業意欲がある一方、雇用者側では高齢者活用の需要が増加し、かつ多様化しています。このため、高齢者の雇用環境の整備がますます重要となってきています。高齢者の就業拡大は、社会・経済上の直接的効果だけでなく間接的には医療・介護予算の軽減にもつながると指摘されており、国が推進している「ニッポン一億総活躍プラン」においても、シルバー人材事業を通じた高齢者の活躍が明記され、シルバー人材センターに対する社会の期待は大きなものとなっています。

このような状況のなか、令和元年度当センターの実績は会員数407人（前年度比0.1%減）、受託件数3,426件（同4.6%減）、契約金額1億3,421万円（同0.3%減）、就業率86.0%（同3.4%減）となりました。その他令和元年度の具体的な事業の実施状況につきましては、以下のとおり報告いたします。